

2013 環境報告書

Environmental Report



人と地球にいい



コミュニケーションパートナー



E-COMMUNICATION PARTNER

KINKAN GROUP

KINKAN グループは

環境サービス全般を通して

循環型社会の構築に日々活動しています。

この素晴らしいびわ湖を地域の方々とともに

次世代へ残すべく歩んで参ります。

【目次】

03. 基本理念、沿革

04. 事業内容

05. 施設紹介

09. 運搬車両紹介

10. EMS (環境マネジメントシステム)

11. 環境マネジメントへの取り組み

安心・安全なコンプライアンス／安心・安全な事業エリア
安心・安全な仕事環境づくり／安心・安全な施設づくり
目的・目標／維持管理目標／目的目標・維持管理結果表

18. 草津市での活動

愛する地球のために約束する協定／
草津市地球冷やしたい推進協議会 参加・受賞／草津市環境イベントにて出展

19. 湖南省での活動

コナン市民共同発電所へ出資／共働作業所との取り組み

20. 京都市での活動

「Live! Do You KYOTO?」に参加／京都市における清掃活動

21. びわ湖における活動

森林づくり／ヨシでびわ湖を守る活動／清掃活動

23. 滋賀県における活動 ①

環境学習／レイクスキャラバンに参加

25. 滋賀県における活動 ②

BDFプロジェクト:地域における循環／バイオマス講演会に参加
びわ湖環境ビジネスメッセへの出展／地域のスポーツを応援
資源物でびわ湖の環境保全

27. 日本・世界に広がる活動

グリーン電力／チャレンジ25
古紙で寄付活動／エコキャップ推進活動／カーボンオフセット

29. 第三者意見／第三者意見を受けて

30. 「環境報告書2012」アンケート集計

【グループ概要】

【会社名】 近畿環境保全株式会社

【代表者】 代表取締役社長 西村 忠浩

【資本金】 1,600万円

【所在地】 本社／〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【会社設立】 1975年6月11日

【会社名】 株式会社湖南リサイクルセンター

【代表者】 代表取締役 西村 忠浩

代表取締役 西村 美代子

【資本金】 1,000万円

【所在地】 本社／〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社設立】 2001年3月22日

【会社名】 株式会社きぶら

【代表者】 代表取締役 西村 忠浩

【資本金】 100万円

【所在地】 本社／〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社設立】 2008年4月1日

【会社名】 有限会社ラゴ

【代表者】 代表取締役 西村 美代子

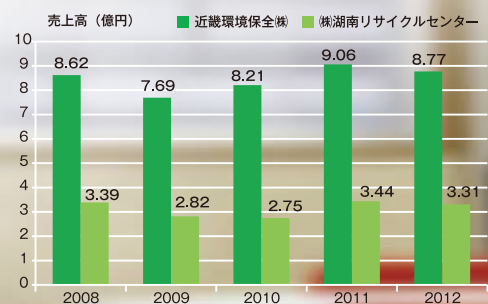
【資本金】 300万円

【所在地】 本社／〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地

【会社設立】 2005年1月12日

【URL】 <http://www.kin-kan.co.jp>

【業務内容】 産業廃棄物中間処理業 一般廃棄物中間処理業
産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
資源物再生事業／建設解体業
リフォーム・外構工事／環境機器販売
廃棄物全般のコンサルタント業務



【報告対象期間】

2012年度 (2012年5月1日～2013年4月30日)

※関連する報告で一部この期間が前後している場合もあります。

【報告対象組織】

KINKANグループ本社 (4社)

【参考にしたガイドライン】

環境省「環境報告書ガイドライン (2012年版)」

【発行】2013年10月

【ごあいさつ】

まずは、今年も環境報告書が関係各位の皆様のおかげをもちまして、このように発行できたことを御礼申し上げます。そして、昨年は弊社50周年という節目の年を迎えさせていただき、皆様のお支えのもと、こうして新しい一歩を踏み出せたことを、重ねてではありますが感謝申し上げる次第であります。

さて、政権交代後の経済は何かと上向き傾向だと聞いておりますが、まだまだ私たち地方の中小零細企業までは、その恩恵を受けているとはいいいがたい現状です。2020年に夢と希望が詰まった東京オリンピック・パラリンピックの招致も決定し、国も具体的なビジョンが示された今だからこそ、私たちにできることから一歩ずつ確実に、地域のために歩んでいかなければなりません。

今年は、台風18号によって当グループの「湖南リサイクルセンター」が浸水し、一部のお客様にご迷惑をお掛けしました。改めて、東日本大震災の経験から学んだ教訓から、日頃の防災意識を高めていかなければならないことを考えさせられた機会でした。これを機に、環境事業という枠におさまることなく、防災・福祉・教育という業界とうまくリンクしながら、新しい事業形態を作り上げていくことで、環境サービスとの融合を進めて参ります。

この環境報告書を手にとっていただいた全ての方々にかかしの気づきと学びがあれば、スタッフにとってもこの上ない喜びです。今後ともご指導・ご協力いただけますことを切にお願い致しまして、ご挨拶に代えさせていただきます。



I LOVE SHIGA



近畿環境保全株式会社 代表取締役社長
株式会社湖南リサイクルセンター 代表取締役

西村 忠浩

環境の

私たちの活動指針は、環境です。
迷ったときは環境を最優先に
物事を運びます。



基本理念

3K

感動の

私たちが行動を起す源は、
感動です。感動がないと、
人は動きません。

改革の

私たちが考えているのは、
常に改革です。改革なくして
発展はありません。



この気持ちをスタッフ全員が心に刻み、
積極的に挑戦していくグループであり続けます。

沿革

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社を設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破碎機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。【廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南市に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。
石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」として現在に至る。
この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして事業拡大。
- 2008年 株式会社きぶらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。
西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。
- 2011年 株式会社きぶらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。
湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破碎施設許可を追加取得。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。



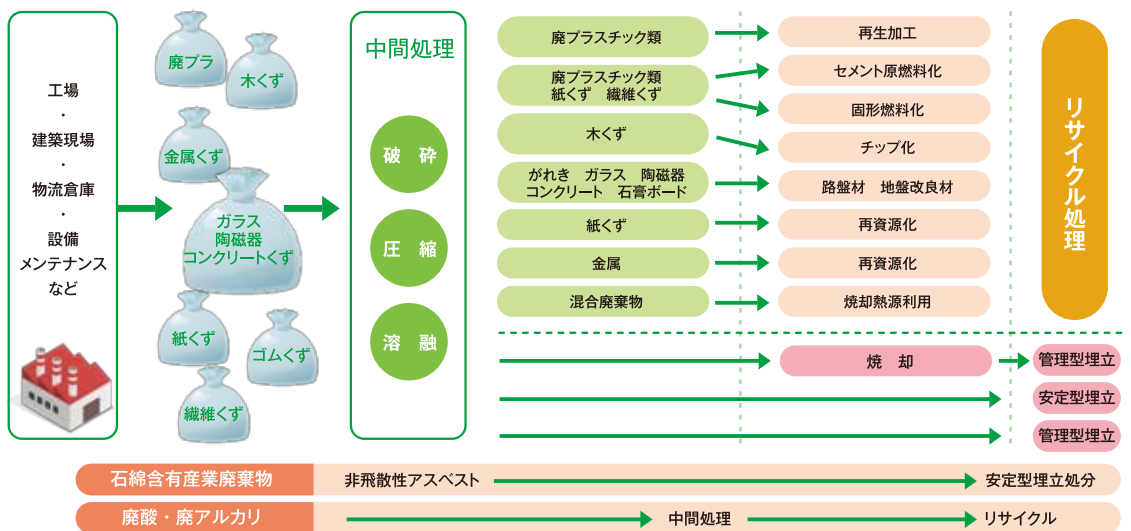


【事業内容】

事業系一般廃棄物（収集運搬）



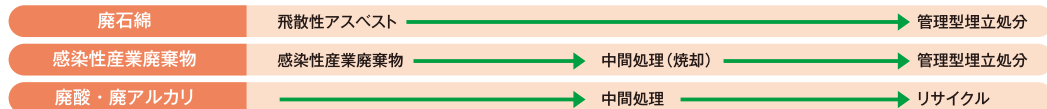
産業廃棄物（収集運搬・中間処理）



食品廃棄物（収集運搬・中間処理）



特別管理産業廃棄物（収集運搬）



T-POINT が貯まります。

建築解体業



当社グループ内で解体から廃棄物の収集運搬、処理まで一貫施工



容器に入っているものや
袋入りのものを
分別します

食品リサイクル・ループの 実現を目指します。

近畿環境保全(株)は食品リサイクル工場を新設し、食品の製造、流通、消費の各段階で生じる、食品廃棄物を飼料、肥料としてリサイクルすることで、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。



缶入飲料や
ペットボトル飲料を
分別します



容器に入った食品廃棄物(一般廃棄物・産業廃棄物)でも
処理可能な食品リサイクル工場で、
【飼料資源】【肥料資源】に分別します。

【FROGセンター 施設概要】

産業廃棄物処理業(中間処理) 湖南省

【選別(破袋)施設】処理能力: 汚泥(有機物汚泥に限る)12t/日、廃プラスチック類2.8t/日、動植物性残渣12t/日

【選別(液体入容器圧縮)施設】処理能力: 廃油36m³/日、廃酸36m³/日、廃アルカリ36m³/日、廃プラスチック類36m³/日、金属くず36m³/日

一般廃棄物処理業(中間処理) 湖南省【食品不要物(野菜くず・パン類・麺類・弁当類・液体食品類)】

【積替保管場所】滋賀県湖南省市石部口2丁目227-1 【保管面積】99.6m²

【保管する産業廃棄物の種類】汚泥(有機性汚泥に限る)廃油/廃酸/廃アルカリ/動植物性残渣

【保管上限】181.34m³ 【保管高さ】4m

湖南リサイクルセンター



廃棄物を
手作業で選別

マテリアルリサイクル

搬入される廃棄物から有価物のプラスチックを当工場で粉碎、圧縮、溶融加工し、国内外に売却しています。また、塩ビパイプ専用の粉碎機を導入し、更にリサイクル率を向上させています。処理されたプラスチックは国内外にて、新しいプラスチック商品に生まれ変わります。



100t/日
処理能力

ゼロエミッションリサイクル

100t/日
処理能力

200t/日
処理能力

セメントリサイクル

マテリアルリサイクルに適さない廃プラスチックを圧縮し、株式会社トクヤマで原料及び燃料化しています。

廃プラスチック類(塩ビを除く)

圧縮処理



プレス梱包された
廃棄物

株式会社トクヤマにてセメントの原料化としてリサイクル

固形燃料(RPF)リサイクル

廃プラスチック、紙くず、繊維くずやその混合物は圧縮処理後、RPF製造工場で固形燃料化され、製紙会社のバイオマスボイラーにて使用されます。

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず(塩ビを除く)

圧縮処理



プレス梱包された
廃棄物

製紙会社にてバイオマスボイラーに使用しリサイクル

固形燃料

サーマルリサイクル

セメントにも、RPFにも適さない廃棄物は、当社にて破碎処理後、発電や発熱利用を行うサーマルリサイクル施設で処理されます。焼却後の残渣もメタル・スラグとして利用されています。

廃プラスチック類、金属、木くず、紙くず等、混合物廃棄物、複合廃棄物

破碎処理



破碎処理された
廃棄物

排熱を発電に利用後、灰をスラグ・メタルとしてリサイクル

ゼロエミッション工場

株式会社湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。

廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくず、金属くずなど全部で8品目を取り扱います。それぞれの処理先に適正な選別をし、中間処理を行い、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルに繋げます。お客様のニーズに合わせたリサイクル、処分を行います。



ゼロ
エミッション
達成



湖南リサイクルセンター

木材チップ用破碎施設

種類ごとに搬入された木くずを、破碎施設によりチップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料、マルチ堆肥として利用されています。原料や堆肥として利用出来ないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。自然の恵みを有効に再利用することを目的に、木材のリサイクル率100%を目指しています。



木くずを有効にリサイクルします。



純木パレット、梁、柱材など
合板、腐敗パレット、生木、枝葉など

Step 3

釘などの金属は磁力選別機により分けられます。



Step 1

重機で木くずを投入します。



Step 4

できあがった木材チップ



Step 2

木くずを粉碎してチップを製造します。



Step 5

木材チップ運搬車にて出荷



- 製紙原料チップ
- 建材原料



- 堆肥
- バイオマスボイラー燃料チップ



有価物として売却されます。

注目のリサイクル商品

木の温もりを感じ周囲の景観との調和が取れるライフスタイル

WeedLock「森のれんが」

車輦が乗れる唯一の木質成型舗装材「森のれんが」

当グループ木材チップを原材料に、木の樹脂で固形化した木質100%リサイクル素材で、初めて車輦の乗り入れ基準をクリアした製品です。環境にやさしい無公害で、高い断熱効果とヒートアイランド現象の防止効果がありますので、駐車場や歩道、外構周りなどの屋外でご利用できます。





資源循環センター



選別圧縮機



製鋼原料として再生



圧縮処理された
空き缶

大型圧縮機



プラスチック原料、
製紙原料として再生



圧縮処理された
ダンボール・
ペットボトル

溶融機



プラスチック原料
として再生



溶融処理された
発泡スチロール

処理した資源物はすべて有価物として販売しています。

資源物に特化した リサイクルセンター

ダンボールや古紙、空き缶、発泡スチロール、ペットボトル等の資源物をリサイクルする再生施設です。可燃ごみの収集車とは別に2tアルミ車にて収集を行い、資源物を巡回回収しています。お客様のお持込にも対応しており、有価物として買取っています。





運搬車輛紹介

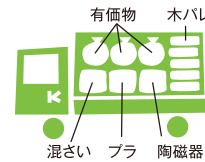
最適な車輛を手配し、 お客様のもとへ

KINKANグループが保有する運搬車輛およびコンテナの種類は右記のように豊富です。幅広くお客様のニーズと出される廃棄物に合わせ、最適な車輛を手配し、お客様のもとへお伺いいたします。

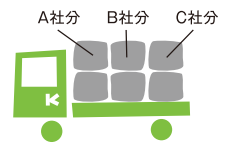


ECO回収サービス対象車

まとめて大量同時運搬でエコ



効率のよいルートでエコ



15t 低床WING 車

台数：2台 (15t)



段積み、リフトでの積み込みが可能です。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。一度に多量の荷物を運ぶことができます。

平ボディ車 台数：1台 (9t)



コンテナやフレコンバッグなどの小サイズ容器の積み合わせが可能です。

ユニック付平ボディ車

台数：1台 (4t)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様のもとへもお伺いできます。様々なコンテナの積み合わせや小コンテナの交換が可能です。

パッカー車

台数：1台 (9t)、8台 (4t)、8台 (3t)



圧縮しながら積み込みする車輛です。重量は軽いけれど圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。

計量器付き：7台



巡回回収を行っていても、個別に重量計量ができる計量器付きのパッカー車です。

ユニック付アームロール車

台数：1台 (4t)



ユニックで釣り上げての積み込みが可能ですので、リフトをお持ちでないお客様のもとへもお伺いできます。様々なコンテナの積み合わせや小コンテナの交換が可能です。

2tアルミ車、軽トラック車

台数：各2台



主に資源物の回収に使用しています。道幅の狭い住宅地など、小回りの効く回収ができます。

アームロール車

台数：3台 (10t)、3台 (9t)、6台 (4t)、2台 (2t)



当グループのスタンダード車輛です。コンテナ (荷台) がそのまま降ろせ、廃棄物排出の都度、コンテナに投入できます。コンテナ交換が可能です。

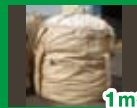
冷凍車 台数：1台 (3t)



最適温度を保持する冷凍車を追加し、お客様のニーズに合うサービスを拡大しています。

コンテナ一覧

フレコン



1m³

アミかご



1m³



1.5m³



2m³



6m³



8m³

ふた付き



8m³



16m³



20m³



24m³

新サービス!

小口産廃回収
「エコ回収BOX」



60L

人と地球に“いい” コミュニケーション パートナー

かけがえのない地球を大切にしたい。
そんな思いを実現するために KINKAN グループは
自然との共生を目指します。

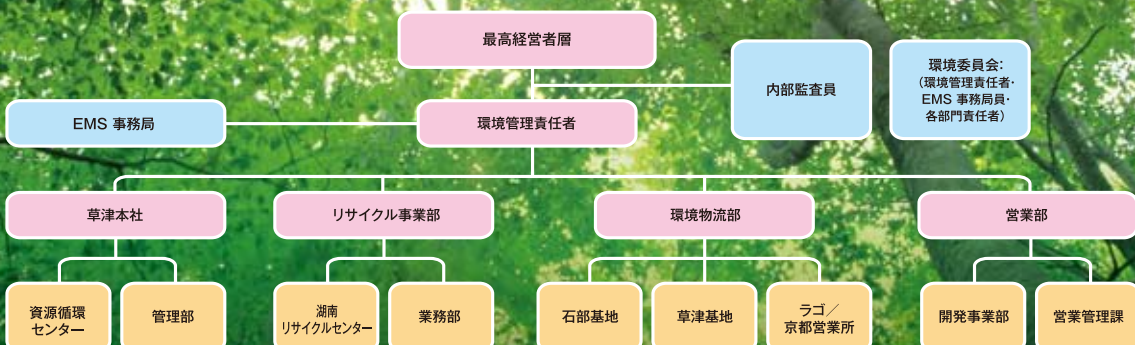
当グループは、資源リサイクルと
廃棄物の収集運搬及び
中間処理業を3本柱とし、
適正に再資源化、処理を行う上で、
循環型社会の構築に努めます。



環境活動方針

- 1 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、処理することに努めます。
 - ① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び再資源化に努めます。
 - ② 中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ③ 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会の貢献に努めます。
- 2 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより、環境汚染の予防に努め、環境保全活動を推進します。
- 4 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を行います。
- 5 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、社外にも情報開示します。

2005年9月6日 現在



【EMS組織表】



安心・安全な コンプライアンス

【スタッフコメント】

コンプライアンス室 室長

永戸 浩一

産業廃棄物処理業に携わる者にとっては、廃棄物の適正処理と事業活動に伴う排出者責任を重く受け止め自ら率先して法律・条例を遵守しています。びわ湖を有する滋賀県で環境に配慮した活動を進め、2015年の改訂が迫っている中、労働安全衛生・道路交通安全・個人情報保護・事業継続の統合マネジメントシステムの構築を目指しCSR活動を推進していきたいと考えています。



法規制の遵守評価

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託して頂きます。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正処理を行っている上、廃棄物の流れを manifests によって最初から最後まで管理しています。当グループは下記の法律・条例・協定を遵守しています。

法律・条例 一覧(五十音順)

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 道路運送車両法
- 道路交通法
- 同和対策特別処置法
- NOx・PM 法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- フロン回収破壊法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

順守確認日
2013年2月28日

評価:
すべて順守

当グループでは、廃棄物の処理の際に発生する、騒音・振動・臭気に対して、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準以下となるよう環境への負担を軽減する努力を重ねています。又、水質汚濁防止法の特定施設には該当していませんが、自主的に水質も測定しています。以下に2012年度のデータを開示いたします。

騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価

騒音と振動のレベルに関する調査を毎年一回当グループの2社にて行います。2012年度の調査結果によれば、実際の騒音レベルと振動レベルは規制基準値以下でした。

騒音レベル	株式会社湖南リサイクルセンター	近畿環境保全株式会社
規制基準	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	58dB	49dB
(場所/No2)	60dB	54dB
評価	○	○

2012年5月21日実施

振動レベル	株式会社湖南リサイクルセンター	近畿環境保全株式会社
規制基準	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	39dB	35dB
(場所/No2)	41dB	38dB
評価	○	○

2012年5月21日実施

臭気測定の結果と評価

臭気レベルに関する調査の結果は、規制基準値以下でした。

	株式会社湖南リサイクルセンター 2012年5月21日実施	近畿環境保全株式会社 2012年5月21日実施
規制基準	敷地境界線14	12
試験の結果(臭気指数) (場所/No1)	10以下	10以下
(場所/No2)	10以下	10以下
評価	○	○

水質

放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		株式会社湖南リサイクルセンター	近畿環境保全株式会社	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	0.5未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デソ法)※	個/m ³	0	0	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		6.9	7.3	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度 ※)	℃	19.2	19.7	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	3.0	1.4	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	2.2	7.2	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	3	25	JIS K0102 21及び32.3
燐含有量	mg/L	0.1	1.0	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	0.5未満	8.5	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。

2012年5月29・30日実施

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理許可を幅広く取得しています。2011年度から一般廃棄物の収集エリアを滋賀県の湖北地域に拡大しました。2012年度より食品リサイクルの施設の許可が下り、積替え保管と中間処理の品目を追加しました。

安心・安全な 事業エリア

許可都道府県及び許可品目

※2013年9月10日現在

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	はいしん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等
-----	----	----	----	-------	----------	-----	-----	------	--------	------	------	-----------	-----	------	------	----------	-------------	-----------	--------------	-------------	-------------

○…産業廃棄物収集運搬業 ◎…積替え保管の許可もある品目

※特管:特別管理産業廃棄物

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

都道府県	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	はいしん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等	
石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
福井県	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
静岡県						○	○	○	○	○	○	○	○										
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
滋賀県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
京都府	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							○
岡山県	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○										
広島県		○				○	○	○	○	○	○	○	○										
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○							
香川県						○	○	○	○	○	○	○	○										

※普通産廃は石綿含有産業廃棄物を含む

一般廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

愛荘町、大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、湖北広域
京都市 (南ラコ)

中間処理業 近畿環境保全(株) 草津

破 碎 廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず

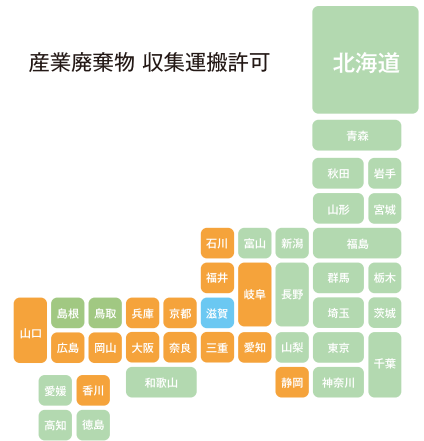
中間処理業 近畿環境保全(株) 石部

選 別 汚泥(有機性汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず

中間処理業 (株)湖南リサイクルセンター

破 碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
破 碎	ガラス・陶磁器くず(石膏ボード)
圧 縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
溶 融	廃プラスチック類(発泡スチロール)
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、刈草、剪定枝

産業廃棄物 収集運搬許可



一般廃棄物 収集運搬許可



工場内での危険予知活動で
無事故・無災害を
目指します



安心・安全な 仕事環境づくり

【スタッフコメント】

リサイクル推進事業部

主任 吉田 光

安全委員会を立ち上げて、今年で3年目になりました。安全委員会で計画している訓練や勉強会が増えて、従業員の安全への意識が年々高まってきている感じがします。また、この3年間、各部所のリーダーは、社外で開催されている安全の講習などにも参加し、各地の同業者さんとのリスクアセスメントやヒヤリ・ハット[※]などを行ない、会社に潜む危険箇所などの共有が出来ました。その経験などをキンカングループにも活かしていき、事故・怪我などを0にしていきたいと思っています。



※ヒヤリ・ハットとは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の発見をいう。文字通り、「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの」である。



安全委員会

安全委員会は「無事故・無災害」という目的で立ち上げられた委員会です。メンバーはリサイクル事業部、環境事業部（物流部門・資源生産部門）、開発事業部、営業部及び本社の各担当者であり、月に一回定例会議を行っています。工場・物流等各部所の危険箇所などを挙げ、改善策を話し合っている委員会です。

定例会議だけではなく、安全パトロールや勉強会なども実施しています。安全パトロールでは、週一回各現場を委員が見回っています。勉強会が月一回各部署、年二回全体で行われ、危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。



ISO勉強会

防災訓練

安心で、安全な仕事環境づくりに努めています。仕事や作業の危険性を把握し、発生させないため、あるいは危険性を削減するための対策を企画しています。当グループにとって最も重大な緊急事態は火災です。災害時を特定し、緊急事態に対応するための手順を決定しています。実際に緊急事態が発生した場合、対応を行なった後、必要であれば手順を見直します。決定された手順が緊急事態の際、順調に実施できるように定期的に社内勉強会と訓練を行っています。



消防訓練（2012年10月）

事故防止に関する訓練

火災以外の事故時に関しても毎年数回訓練や勉強会を行っています。今年度も、社内全員に様々な形で危険性を意識してもらい、よりよい仕事環境作りに協力してもらいました。



ドライバー向けの油もれ対策勉強会（2012年9月）



木材チップ工場の作業写真観察によるリスクアセスメント（2012年6月）

esj エコスタッフ・ジャパン

廃棄物処理・リサイクル「安心・安全」の全国ネットワーク

全国における認定された優良な廃棄物処理業者のネットワーク

2011年からKINKANグループは**滋賀県唯一のエコスタッフ・ジャパン認定企業**となりました。

基準を満たした当グループはESJネットワークにおいてさらにスキルアップし、お客様に安心・安全で、より良いサービスを提供できるよう努めています。



優良ドライバー育成研修会（2012年11月16日）



2012年6月8日
労働安全衛生に関する研修会

節電・エコドライブに関するセミナー

東北大地震後、課題になっている節電について滋賀県地球温暖化防止活動推進員さんをお招きし、セミナーを開催しました。身近なところから地球温暖化を教えていただき、できることやその効果について共に考えました。また、エコドライブに関する知識もたくさん学びました。



節電に関するセミナー（2012年7月28日）

安心・安全な 施設づくり



2012年8月10日
立命館大学環境建築授業の一環として当社で見学が行われました

廃棄物処理についての情報をお客様に提供するだけでなく、お客様自らが、処分地の確認をご希望があれば、当グループはもちろん、最終処分地においても視察や確認が随時可能となっています。また、環境学習のために工場見学をしていただくことも可能です。お客様が安心できる処理を提供するために当社も最終処分地の視察、処理の確認を行っています。最終処分地が適正であると確認した後に、お客様に提案します。



2013年3月9日
南草津の高校から放送部の学生さんたちがリサイクルの動画撮影にお越しくださいました



2012年10月3日
日本郵政グループ労働組合奈良連絡協議会の方が見学にお越し下さいました

処分地の確認

当グループで中間処理された廃棄物は、2次処分先に運搬されます。お客様に安心していただくために、処分先をプロの目線で確認しています。



2012年9月28日
㈱ダイカンにて処分地視察



2012年9月26日
㈱環境保全センター様にて処分地視察

【スタッフコメント】

営業部 廃棄物・リサイクルチーム

主任 西村 幸佑

私たちは排出事業者様に安心・安全を届ける為、2次処分先の視察を行っています。弊社の努力義務なのはもちろん、お忙しい排出事業者様に代わりプロの目線で視察しております。実を言いますと排出事業者様と同行して視察を行う事もありますので、ご依頼頂けると非常に助かります。お客様と処分先までの道中にたくさんのお話が出来るのも楽しみの一つです。また、(株)湖南リサイクルセンターの視察も随時受け付けております。2012年度は学生さんや遠方からお越しいただいたお客様もあり、皆さんの環境に対する関心の高さに驚きました。排出事業者様には実際に処理場を見ていただき、当社に委託をして良かったと感じてお帰り頂けるよう精一杯案内させていただきます。





ISO 目的・目標

【スタッフコメント】

宿谷 昌志

新聞や雑誌、缶とペットボトルなどを会社
に持ってきています。

やっぱり、ごみを減らすことにつながるし、
温暖化防止にもなるので、会社のこのよう
な活動に協力したいと思いました。でも、
資源ごみをこんなに多く集められることには、
妻が熱心になったことが原因だと思いま
す。おかげで、最初は妻が資源ごみ収集
を実家をお願いしたのですが、その後友達
にも声かけました。友達も少しなら、協力で
きるし、ごみが減るので助かるし、と行って
くれて、今はよく友達と遊びに行く時につ
いでに資源ごみも持って帰るようになりました。
皆の協力で集まるものがどんどん増
えてきました。

環境ポイント制度が始まってから、日常生
活の違うところでも少しずつ取り組んで、
買い物に行くときに車をやめて、自転車
で行くようになりました。これからもできるこ
とをやりたいと思っています。



毎年高い目標を立て、環境経営を

当グループは2005年より環境マネジメントシステムのISO14001を実施しています。
毎年、環境へ与えている負担を把握し、それを削減するために、年々高い目標を立てて
環境経営を行っています。2012年度にはリサイクル率をさらに高めることやグリーン
購入率、スタッフの環境ポイントの増加などを目指しており、ほぼ達成できました。

湖南リサイクルセンター

✓ 産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の中間処理に特化した湖南リサイクルセンターにて
年々リサイクル率の向上に努めています。

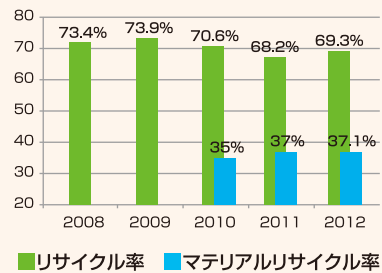
細かい選別やリサイクル先と再利用の方法の増加により環境へ配慮した処理を行っています。
また、お客様にゼロエミッションを提案しています。

2011年度から新たな目標を立て、産業廃棄物の中から、マテリアルリサイクルされる廃棄物(以
下有価物)の割合を把握し、年々向上させることができました。マテリアルリサイクルにつなげた
「有価物」の割合は2012年度に立てた29%の目標を上回り、昨年と同様に37%となりました。
処理された産業廃棄物からリサイクル(サーマルリサイクルなどを含め)された廃棄物の割合は
昨年より向上し、69.3%でした。

69.3%
マテリアル
リサイクル率
目標達成



産業廃棄物のリサイクル率(%)



木材チップ化施設

✓ 木くずのリサイクル

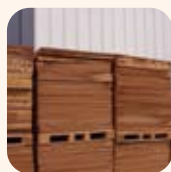
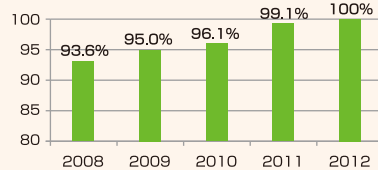
パレットや生木などの木くずをより効率的に
再利用するために、専用の破砕施設を設けています。

当社の木材チップは製紙原料、堆
肥および燃料への利用に加え、W
eedLockという木材れんがに使
われるようになりました。

2012年度の木くずリサイクル率
は100%になり、搬入された木く
ずはすべてリサイクルすることが
できました。

100%
リサイクル率
目標達成

木くずのリサイクル率(%)



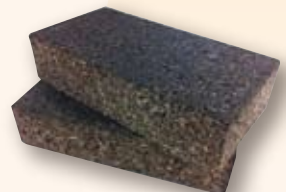
before



after



製紙原料チップ



WeedLock

リサイクル率UP!

行っています。



2012年度には
低公害車輛を
新たに5台購入



5台
低公害車輛
購入

低公害車輛の導入

環境への負担を減らすために低公害車輛をできるだけ多く導入しています。

当グループは収集運搬業を行なっているため、車輛を多く使用しています。そのため環境への負担を減らすために低公害車輛をできるだけ多く導入しています。2012年度には低公害車輛を新たに5台購入しました。導入した車輛はNox・PM対応車だけでなく、平成27年度燃費基準達成車及び、平成13年騒音規制車です。これにより運搬の際の公害を削減し低燃費化しています。

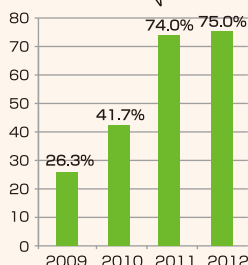
グリーン購入

当グループは環境への取り組みの一つとしてグリーン購入を推進しています。

文具や事務用品を購入する際、できるだけ環境配慮型商品になるよう選択しています。2012年度では、購入金額の4割を目標に掲げていましたが、75%がグリーン購入となり、目標を高く上回りました。

75%
グリーン購入率
目標達成

グリーン購入率(%)



資源循環センター

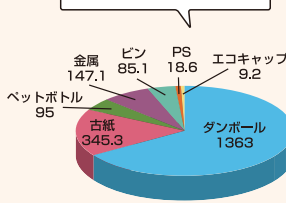
資源ごみのリサイクル

当社回収している事業系一般廃棄物の中にある資源物は資源循環センターにてリサイクルされます。

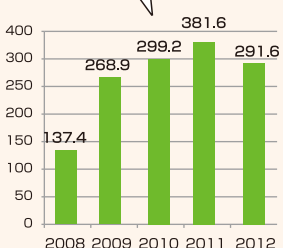


2012年度には、リサイクルにつなげた資源ごみの重量は1.2%増えました。もっとも多く扱われる資源ごみはダンボールと古紙です。ISO14001では、ペットボトル、缶、ビンの搬出量に関して目標を立てています。2012年度の目標は305トンでしたが、実際の有価物搬出量は291トンとなり、目標を達成することができませんでした。

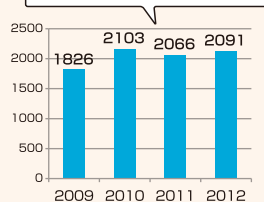
2012年度資源ごみリサイクル量(t)



有価物搬出量(t)



資源ごみリサイクル量(t)



環境ポイント運動

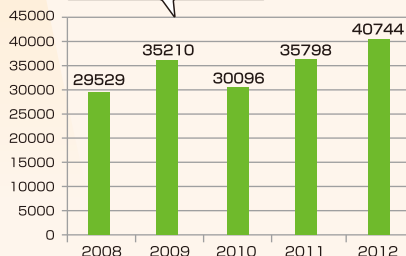
スタッフの取り組みとして、毎年継続して資源物回収運動を行っています。

従業員の皆に缶、ペットボトル、新聞などの資源物を収集してもらい、一個あるいは一キロごとにポイントを付けます。資源物だけではなく、環境に関連するイベントや清掃活動に参加することでもポイントが与えられます。一番多く持参した20人の社員を毎年表彰しています。

この取り組みは現在ISO14001の目標の一つであり、年々目標のポイントを上げています。2012年度の目標数字は一人当たり90ポイントであり、スタッフの約7割が目標を達成できました。合計40744ポイントが与えられました。

90ポイント
環境ポイント
目標達成

環境ポイント



毎日の
積み重ねが
大事!

情報ポイント

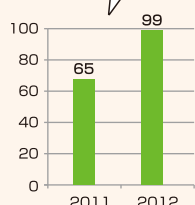
2011年度より営業部の目的目標に新しい取り組みとして、情報ポイントを追加しました。

営業部で当社の視察や産廃情報ネット、ホームページ、Facebookを通じた情報発信をしています。お客様への情報を発信するにあたり情報ポイントが付きます。

2012年度の目標は71ポイントでしたが、実績は目標を大きく上回り、99ポイントとなりました。排出事業者の皆様へ安心して頂けるよう、今後も積極的に情報開示を行ってまいります。

99ポイント
情報ポイント
達成

情報ポイント





維持管理結果表

目的目標・維持管理目標

当グループでは、事業をしている中で、どうしても削減・増加しにくい、あるいは削減・増加の目標をたてることのできない項目については、維持管理を行い、データにより項目の状況を把握しています。各項目を意識し、なるべく削減・増加できるように心がけています。

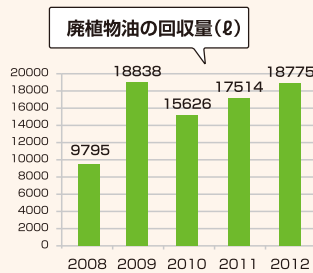
2012年度の維持管理項目は11項目であり、各項目に関してデータ管理を行いました。

廃植物油の回収 油のリサイクル

バイオディーゼル燃料を自車両にも使用しています。

7.2%
油回収量
増加達成

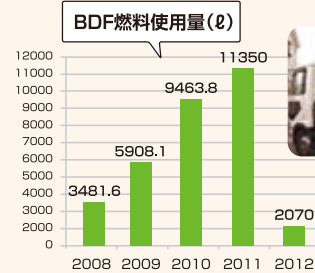
廃植物油のリサイクルを推進し、当社が廃油を回収し、バイオディーゼル燃料を自車両にも使用しています。年々廃植物油をリサイクルに回していただいているお客様が増え、活動がCO₂削減への取り組みにも使われています。2012年度の回収量は、18,775ℓであり、昨年度より7.2%増加しました。



BDF給油量

BDFを当グループの収集運搬車両に使用しています。

回収した油から精製したBDFを当グループの収集運搬車両に使用しています。地域における循環型社会の実現に貢献するとともに、二酸化炭素の排出抑制にも一躍を担っています。2012年度には、バイオディーゼルを使用できる車両は少なくなったため、BDFの使用量は減少しました。

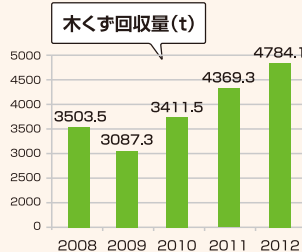


木くずの回収量

木くずのチップ化施設への搬入量を年々管理しています。

9%
増加達成

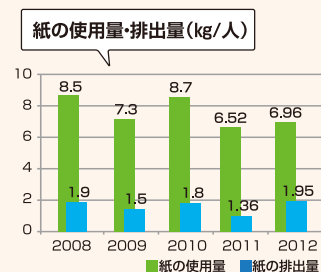
当グループにおける木くずのチップ化施設への搬入量を年々管理しています。2012年度には、約4784トンの木くずを回収し、回収量は昨年より9%増加しました。回収された木くずの全てがリサイクルされました。



紙の使用量

古紙を当社資源循環センターにて圧縮し、製紙会社に売却しています。

紙は事務所が必要不可欠なものです。なるべく使用量を減らし、裏紙を使うようにしています。使用済み古紙を当社資源循環センターにて圧縮し、製紙会社に売却しています。2012年度には、使用された紙と排出された紙の量は増加しました。



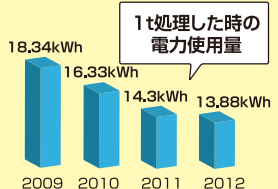
目的目標の達成状況

タイトル	環境方針	環境目的	2012年度末	目標達成結果
環境ポイント制度	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	全構成員は環境ポイントを2013年までに270ポイント以上獲得する(2011年度80p 2012年度 90p 2013年度 100p)	90P以上	○
グリーン購入		グリーン購入対象商品を、2013年度末までに月額事務用品購入金額の総額の40%達成	40%達成	○ 実績75%
廃棄物リサイクル率の向上	中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。	中間処理後産業廃棄物の受入量対有価物排出量の比率の向上。2013年度末までに30%達成	2%向上 29%	○ 実績37.1%
資源ゴミ(有価物)リサイクル率の向上	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	2013年度末までに、有価資源ゴミ(ビン・缶・ペット)の排出数量を3%向上(2011年度実績 基準値 草津:299.19t)	2%向上 305.17t	×
木くずリサイクル率の向上	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	木材チップ排出量と木くず搬入量の比90%以上を達成	90%以上	○ 実績100%
低公害車の導入		Nox-PM対応車を2013年までに3台増車する(基準値2011年度末対応車5台)	3台増車	○ 実績5台
情報発信件数の増加	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	当社の情報発信件数を増加する。(2011年度実績65P 2012年度末6P向上 2013年度末12P向上)	71件	○ 実績92件

維持管理項目の状況

項目	数量	単位	昨年よりの変化
廃植物油の回収	18775	ℓ	7.2%増
BDF給油	2070	ℓ	82%減
木くずの回収量	4784.1	トン	9%増
紙の使用量	6.96	kg/人	6.7%増
紙の排出量	1.95	kg/人	43.4%増
産業廃棄物リサイクル率	69.3	%	1.6%増
LPガス消費量	67.6	m ³	9.5%増
電気消費量	325640	kWh	5.6%増
水道消費量	3511	m ³	6.0%減
車輛燃費	4.55	ℓ/km	9.4%増
重機・構内車燃料使用量	51432	ℓ	7.6%増

電気を最も使用する湖南リサイクルセンターにて、処理した廃棄1トンに当たる電気使用量は2009年より毎年減少しました。それは廃棄物の搬入量が増加し、より効率よく処理できた事と考えられます。



注目

草津市
子ども環境会議にて

草津市環境イベントにて出展



毎年夏に草津市エコフォーラムが開催されます。環境問題や取り組みなどについて最新情報の講演会と展示会が行われる中、当グループも毎年出展しています。



長い歴史を持つ草津市子ども環境会議にて2010年から出展しており、子どもたちにリサイクルの仕組みを伝えています。

2012年のイベントでは、プレスした缶などのサンプルを展示しました。

私たちの
取り組み

草津市での活動

近畿環境保全株は
草津市と協働して、
地球温暖化防止に
取り組んでいます。

「愛する地球のために約束する協定」
締結事業所
私たちは、草津市と協働して、
地球温暖化防止に取り組んでいます。

愛する地球のために 約束する協定

KINKANグループの本社である近畿環境保全(株)では、2009年から地元の草津市と「愛する地球のために約束する協定」を結んでいます。温暖化防止や環境保全への取り組みを約束し、草津市に毎年報告しています。



草津市地球冷やしたい 推進協議会 参加・受賞

「草津市地球冷やしたい協議会」にてオブザーバーとして参加しています。

地元の草津市の環境を守る取り組みや地域の行政と市民の方々とのコミュニケーションを図っています。



優秀賞を受賞いたしました(2011年・2012年)



市長コメント

このたび、近畿環境保全株式会社様が環境報告書2013を発行されますことを心からお喜び申し上げます。

貴社が持続可能な社会の構築に向けた取り組みとして、市民、事業者、団体、行政で組織する「草津市地球冷やしたい推進協議会」への参画や、「愛する地球のために約束する協定」の締結などを本市との協働により進めていただいていることに心からお礼を申し上げます。

次世代へ良好な環境を引き継いでいくためには、市民、事業者、団体、行政が一体となって循環型社会の構築や環境保全に向け、取り組むことが求められており、貴社の活動に改めて感謝を申し上げるとともに、より一層の御発展を御祈念申し上げます。

草津市長 橋川 渉 様



式号機施設概要

太陽光パネル枚数 …… 440枚 パネル
機 種 …… ハンファ製
定格出力 …… 105.6kW
年間総発電量 …… 約92,987kW
設置面積 …… 721.6㎡



パートナー団体コメント

一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト

理事長 溝口 弘 様

1997年6月、湖南省石部町において全国初となる(事業型)市民共同発電所「てんとうむし1号」が始まりました。危機迫る地球温暖化に対して、何か市民としての具体的な行動はないのかというのがきっかけでありました。それから15年、国では念願の固定価格買取制度が始まり、ここ湖南省でも「コナン市民共同発電所初号機」設置に向けた取り組みが始まりました。近畿環境保全さんはその取り組みや、併せて進めている「コナン熱エネルギー研究会」にも積極的に参加されておられます。今後も地球温暖化防止の取り組みを通して、助け合い支え合いの地域づくりに共に歩んでいきたいと思っています。



私たちの取り組み

湖南省での活動

地域の活性化を応援するため
コナン市民共同発電所への出資や
いしべ共働作業所と
リサイクル活動を行いました。

コナン市民共同発電所式号機の
オープニングセレモニーが
行われました



コナン市民共同発電所へ出資

2013年度に、湖南リサイクルセンターから地元の湖南省における市民共同発電所式号機に出資しました。出資者として地域の自然エネルギー作りに積極的に参加しながら、地域の活性化を応援しています。

一般社団法人コナン市民共同発電所は、「湖南省地域自然エネルギー条例」の理念に基づき地域の自然エネルギーを利用して得た収益を地域で循環できるよう取り組んでいます。(湖南省HPより)

いしべ共働作業所との取り組み



地元にあるいしべ共働作業所の障がい者の皆さんとリサイクルのための選別作業を行なっています。2011年度より始めた取り組みであり、現在6名に作業をいただいています。人数と作業の範囲を増やし、これからもこの取り組みを進めていきたいと考えています。

いしべ共働作業所の障がい者の皆さんと選別作業を行っています

いしべ共働作業所は、昭和62年4月(株)川合製作所内で発足し、平成13年9月に現在の場所に移転、平成20年に新体系移行に伴いNPO法人となり現在に至ります。定員は20名で、就労移行支援事業及び、就労継続支援B型事業のサービスを実施しており、共に就労の機会や、生産活動の機会を提供しております。私たちが大切にしている物は次の3つで、基本理念として掲げています。一つ目は生きる「しあわせ」、二つ目は働く「よるこび」、最後に自立する「楽しみ」、この理念を追求することにより、企業就労の実現を目指すと共に地域の中での確立を目指しております。

パートナー団体コメント

特定非営利活動法人Ski・エスケイアイ(いしべ共働作業所)

理事長 小山 達慈 様

近畿環境保全さんとの取り組みについては、御社より利用者の立場(適性・特性)に配慮した仕事を提供して頂いている事や、御社が徹底して取り組んでおられる工場内清掃を利用者も体験させてもらえる事により、利用者にとって、就労に向けての貴重な実践・体験の場を提供して頂いているものと認識しております。この子たちも社会にとって立派な生産者であるという見識のもと、彼らは自ら光り輝く素材そのものなのだから、支援者、また関係者等が彼らより磨きをかけ、輝かし、地域社会や企業へ送り出す担い手としてしっかり取り組んでいかねばならないと思っています。彼らを企業に送り出すということは、障がい者を雇用する事が「企業の果たす社会的責任」ではなく、企業の経営活動に貢献できる人材を提供する事と認識しております。その様な想いの中、御社に対しての期待につきましては、私たちと御社とが、一緒に手を繋ぎ、新しい事業づくりや、より、障がい者への雇用の「場作り」を共にできればと考えております。



お客様コメント

ミュージシャン 秋人様

われわれ Live! Do You KYOTO?実行委員会は、Liveイベント以外に毎月1回、掃除をしています。これは「クリーンアップ京都」の名で、自分たちの街をキレイにしよと呼びかけて行っている清掃活動です。その時も、近畿環境保全株式会社さんのエコキャップ回収BOXを設置しています。回収BOXに各自が家庭で集めたキャップが増えていくのを見ると、一人一人のエコへの意識や物を大切にすることが強くなっていると感じます。

また、「えこら」さんに協力していただき、学生や地域の子供達に参加できる廃油を使って作るキャンドル教室を開いています。捨てる物が新しくキャンドルに代わる驚きと、自分で作る楽しさで参加した子供達は夢中になって作ります。

今後も Live! Do You KYOTO?のイベントを開催していく中で、音楽でエコ、物のこだわりのエコ、掃除を通じてのエコアクションを、このペースと一緒に続けていければと願っています。今後ともよろしく願っています。



今年で5年目の Live!Do You KYOTO? が開催されました

私たちの取り組み

環境イベント Live! Do You KYOTO? に参加

音楽を通じてエコを考えてみると、2008年から始まった「Live! Do You KYOTO?」は、2012年で5年目を迎えました。

出演するアーティストはもちろん、会場に足を運んでくださるオーディエンスの皆さんは、会場へエコキャップを持ってきてくださって、回をかさねるたびに、たくさんエコキャップが集まるようになってきました。

この音楽とエコを組み合わせせたイベントに当グループも賛同し、スポンサーとエコキャップの回収の協力者として関わっています。

京都市内におけるエコキャップ運動は今後もますます広がり、当社でこれからも協力していきます。



当日約40kgのキャップが集まりました

当グループ会社、有限会社ラゴの本社は京都市にあるため、京都市の方々とのコミュニケーションや環境への取り組みに努めています。

京都市での活動



京都市における清掃活動に参加



2012年11月4日に京都市における清掃活動に参加しました



森林づくり



2012年6月に
手打ちおよびロボットによる
枝打ち作業を
体験しました。



当グループと(株)エコネット様、(株)服部モーターズ様の3社が、三雲生産森林組合様との間で結んだ「琵琶湖森林づくりパートナー協定」は4年目になりました。この協定により、森林づくりにかかる費用や労働力を提供し、森林整備の推進に努めています。2012年度には2回、夏と冬に森林づくり活動を行いました。



2012年11月に
間伐作業を
行いました

CO₂吸収証書をいただきました。



2009年~2012年
合計144t
CO₂を吸収!



協力者様 コメント

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課 森林経営・交流推進担当
技師 **星野 南** 様

滋賀県では、環境貢献などを目的として森林づくり活動を行う企業や団体などが整備する森林について、二酸化炭素の吸収量を認証する取組を平成23年度から行っています。近畿環境保全株式会社様は、株式会社エコネット様および株式会社服部モーターズ様とともに、琵琶湖森林づくりパートナー協定に基づく森林整備活動に取り組み、二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止など、森林の多面的機能を高める活動に取り組んでいただいています。今後ともびわ湖の水源を守る森林整備へのご協力を期待しています。



当グループはこの協定によりびわ湖の水源でもある森林を整備し、私たちの暮らしの支えとなっているびわ湖を守ると共に、CO₂の吸収量を増やし、地球温暖化を防止します。そしてこの活動を通して地域住民の方々との交流を深め、環境に良い地域づくりと共生、基盤づくりを行い、未来の子供たちへ健全な自然を残していけるよう努めます。
2012年度に、3社の支援による森林整備の内容を滋賀県庁森林政策課に申請し、CO₂吸収証書をいただきました。

自然体験活動を開催



2013年3月17日に一般市民の方々に向けた自然体験活動が開催されました。三雲森林組合と循環型社会創造研究所えごらのご協力により、昨年11月に間伐したヒノキでマイ箸づくりと三雲森林の原木にしいたけ植菌体験、およびネイチャーゲームを行いました。

ヨシでびわ湖を守る活動



私たちの
取組み

びわ湖

における活動

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、ヨシ刈り活動に参加しています。草津市や近江八幡市で、湖岸や西の湖などのヨシを刈り、ヨシの有効利用とびわ湖の浄化を促進しています。

2013年2月
近江八幡にて



2013年1月
草津にて



多年生の草本のヨシは、成長のよい群落の場合、地上部の最大現存量が乾燥重量で2kg/m²にも達します。その植物体には窒素(1-3%)やリン(0.2-0.4%)が含まれていますので、刈り取って持ち出すとびわ湖を浄化することになります。

(滋賀県琵琶湖環境科学研究センターのHPより)

スタッフコメント

営業部 池元 大輝

弊社では、普段の業務の他にびわ湖のヨシ刈りや清掃活動などの環境保全活動に参加しています。私自身も、内定者研修の一環としてヨシ刈りに参加させていただきました。自分の背丈の倍近くもあるヨシを刈り取るには苦労しましたが、良い経験をさせていただくことができました。また、入社後には、7月1日のびわ湖の日に行われる清掃活動にも参加しました。普段、何気なく車で走っている湖岸道路ですが、落ちていたゴミの多さにびっくりしました。入社する前は、このような活動が行われていることも知らなかったのですが、参加することがなかったのですが、この機会に環境に対する意識が高まったように思います。



毎月の 清掃活動

当グループは地域における清掃活動や美化活動に毎年積極的に参加しています。また、毎月一回、KINKANグループ三社で会社の周辺にて清掃を行っています。

2012年度には、5月30日(ゴミゼロの日)と6月28-29日(びわ湖の日)に草津市や湖南市で行われた清掃活動に参加しました。

この様な活動を実施することにより、地域とびわ湖がきれいになるだけでなく、社内スタッフのチームワークと環境意識を向上することから、これからも積極的に参加していきます。



南ラゴにて



湖南南リサイクルセンターにて



近畿環境保全会にて

「ゴミゼロの日」 清掃活動



「びわ湖の日」 清掃活動



清掃活動



滋賀県

における活動

1

私たちの
取組み

当グループでは
子ども向けの環境学習を
積極的に実施しています。

三上小学校にて
2012年9月



環境学習

ごみのことやリサイクルの方法などを次世代の子どもたちに伝えることは、循環型社会への構築につながると信じています。子どもたちにはごみ分別とリサイクル方法について学習してもらいます。実際に当社車輻にごみを積み込む体験をしてもらうことによって、ごみ回収と分別された資源ごみの回収を実感することができます。また、廃植物油の精製の仕組みをBDFやプレスされた缶、プラスチックインゴットなどとふれあひながら説明していますので、子どもたちはリサイクルを肌で感じることができます。

守山養護学校にて
2012年9月



レイクス
キャラバンに参加



2012年度には、お陰さまで環境学習の依頼が増えました。当社がスポンサーしている滋賀レイクスターズと協同で、スポーツ+エコをテーマにレイクスキャラバンにも参加しました。草津、栗東、野洲、守山の小学校及び、東近江市の二五八祭りにて計6回環境学習を行いました。





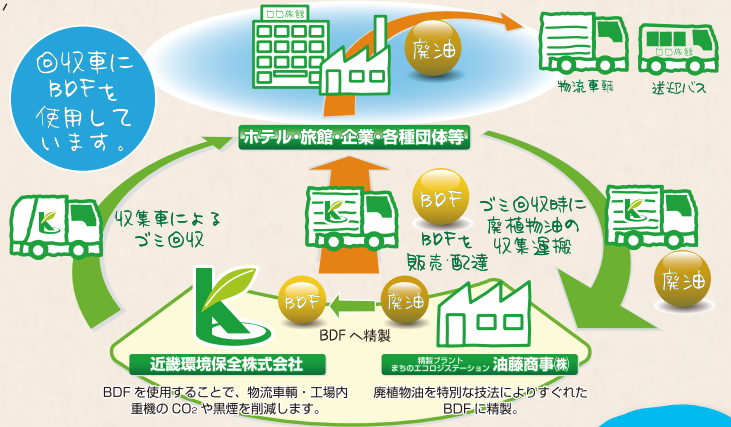
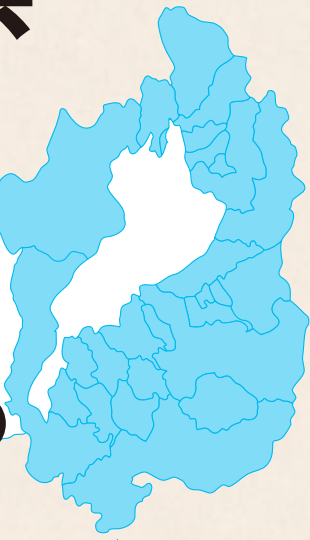
- 完成 バイオディーゼル
- 粗メチルエステル (洗浄排水)
- 粗メチルエステル (グリセリン)
- 廃食用油

私たちの取り組み

2012年度
5.42t
CO₂削減

滋賀県

における活動 ②



2012年度
18775ℓ
油回収

BDFプロジェクト地域における循環

循環型社会を目指し、2006年から廃植物油を回収しています。その廃植物油は豊郷町にある油藤商事株式会社にて精製され、作られたバイオディーゼル燃料 (BDF) を収集運搬車両に使用しています。BDFは新たに二酸化炭素を排出しないため、「カーボンニュートラル」な燃料であると言われています。またこの活動は、地域で排出された油を地域でリサイクルし再利用することにより、循環型社会の実現に近づくことができます。

【取り組み事例】

廃植物油の回収を様々なお客様のご協力により行っていますが、その中で、おごと温泉組合様に協力していただき、油を定期的なコースで回収しています。効率的な廃油回収活動によりCO₂削減ができ、更に地域の活性化にも繋がります。また、廃油を回収し、BDFを車輛に使用していただいている西日本高速道路メンテナンス関西様においては、油の循環にも貢献していただいています。

バイオマス講演会

近年、自然エネルギーとしてバイオマスエネルギーが注目されています。当グループは、産業廃棄物の中間処理を通し、バイオマスボイラーへの木材チップ燃料の製造や、固形燃料向けのリサイクルに携わっています。2012年度には、滋賀県で行われた自然エネルギーに関するイベントにて当グループの取り組みを2回紹介しました。滋賀県におけるバイオマスエネルギー使用の実現へ向けて、当グループはこれからも取り組みを続け地域に貢献できるよう取り組んでいきます。

2012年11月22日
環びわ湖地産地消型
エネルギー研究会
主催のセミナーにて

2013年2月8日
再生可能エネルギー
事例発表会



「地域に根差した自然エネルギーの利活用を実現する技術」
～バイオマスや水力を利用したまちづくりを目指して～

スタッフコメント

営業部営業管理課

課長 西村 篤

我々は地元の里山である三雲の森林の保全や、びわ湖湖岸のヨシ刈りといった様々な環境保全活動を行っています。その中でも、日々の業務の中でCO₂削減や資源の回収や活用に力を注いでいます。今後は地域で発生するバイオマス資源を地域エネルギーとして活用できる様に前向きに取り組んでいきます。地元で発生する資源を適正に有効利用することが、地産地消の好循環が生まれることに繋がります。我々はより一層地域密着で環境活動を行い、皆様のパートナーとなれるように努めていきます。



びわ湖環境ビジネスメッセへの出展



3日間で1000名以上の方々に
ブースにお越しいただきました。

びわ湖環境ビジネスメッセは、「環境と経済の両立」の基本理念のもと、毎年開催されています。2012年は、10月24日(水)～26日(金)の3日間、長浜ドームにて開催されました。297社の会社が出展し、約35000名が来場されました。我々KINKANグループも、2012年で7回目の出展となり、廃棄物処理、リサイクルのご提案、CSR活動をご紹介しました。



毎年若手社員を
中心に準備及び出展しており、
研修の場としても活用しています。

地域のスポーツを応援



プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」をスポンサーとして応援しています。ホームゲームの会場において「エコステーション」と名付けた廃棄物回収場所で可燃ごみと資源ごみの回収を行っています。資源物の売却収益の一部を「循環型社会創造研究所えこら」を通し、琵琶湖の環境保全に寄付しています。当グループは地域のスポーツチームを応援することにより、地域との交流や協働環境活動の活性化などに貢献することを目指しています。2012/2013シーズンで集まった資源ごみで、5mのヨシを再生できる金額を寄付することができました。



滋賀レイクスターズ所属
オリンピック選手、
女子棒高跳びの
我孫子智美さんも
来社されました。



お客様コメント

#23 横江 豊 選手 草津市出身

同じ地元草津市の近畿環境保全様には、滋賀レイクスターズホームゲーム会場(年間26試合)にてエコステーションの設置をして頂いております。エコステーションが設置されてからは、フースター(ファン)が試合終了後に会場のゴミを持ってエコステーションに分別の協力をして下さる姿を目にするようになりました。よい空間を共有するために、みなさん一人ひとりの協力がとても力になっていることを実感しています。我々選手も、ロッカールームでは、試合中に使用するペットボトルのキャップやゴミの分別回収心がけています。これからも、プロ選手として応援して下さる皆さんの良き見本となれるよう、環境保全活動には積極的に取り組んでいきます!



地元サッカーチーム「MIOびわこ滋賀」の応援

JFL (Japan Football League) で闘う「MIOびわこ滋賀」を応援しています。地元のサッカーチームであるため、地域活性化活動の一環としてMIOへの支援活動に取り組んでいます。

資源物でびわ湖の環境保全

KINKANグループは、お客様から提供していただいた空缶やペットボトル、古紙、廃植物油などの資源物を、「循環型社会創造研究所えこら」を通し、びわ湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。2012年度には、約38トンの資源ごみを寄付につなげることができました。



注目

2013年7月に淡海ネットワークセンターの「おうみネット」市民情報紙に近畿環境保全(株)とえこらのパートナーシップについて記事が掲載されました。



資源ゴミを使った、ものづくりワークショップ



自然体験活動 ネイチャーゲーム

日本における活動

私たちの取り組み



循環型社会の構築を目指す
当グループは県外においても
様々な環境活動に
取り組んでおります。

グリーン電力

当グループの中核を担う株式会社湖南リサイクルセンターの工場は使用電力の10%をグリーン電力でまかっています。省エネ・CO₂排出削減を可能にした環境配慮型のリサイクル工場を実現しています。グリーン電力を利用することにより2012年度に約9トンのCO₂を削減できました。

2012年度
9t
CO₂削減



グリーン電力とは？

グリーン電力とは、温室効果ガスや有害ガスの排出が少なく、環境への負荷が小さい自然エネルギー、バイオマスによって発電された電力です。



古紙で寄付活動

読売新聞の販売店様と共同で始めたこのプロジェクト。読売新聞を購読されているお客様から古新聞やカン・ペットボトル・雑誌などを提供していただいています。そのリサイクルした収益の一部を年々異なるところに寄付しています。2010年度には植林活動に寄付し、2011年度には大震災で親を亡くされた子どもたちに「あしなが育英会様」を通じて支援活動を行いました。2012年度にはアジアの子どもたちにワクチンを贈るJCV様に寄付しました。

スタッフコメント

事業部情報処理課 青木 亜衣



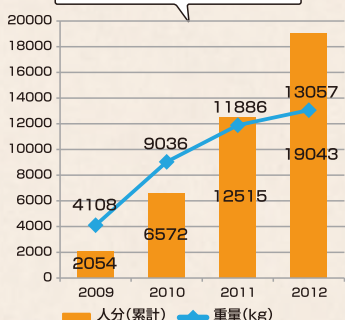
以前から、自分が使ったペットボトルのキャップは、地元のエコキャップ回収BOXに入れるなどしてきましたが、近畿環境保全に勤めるようになってからエコキャップ運動を自分たちが行っているという実感がすごく湧いてきました。貧しい国々の子供達が病気にならないために、こういう活動でワクチンが贈れるということは、とても素晴らしいことだと思います。当社にほぼ毎日、どこからかキャップが届くので一度に大量に集まります。送付先の企業だからこそ、大きな効果が一目で分かり、役に立っていると感じます。これからも、一人でも多くの子供達が元気にいられるようにこの活動を続けていきたいと思っています。

エコキャップ推進活動

当グループは、2009年より「NPO法人エコキャップ推進協会」活動に参加し、エコキャップの送付先となっています。本活動にご理解頂いている関西の皆様より毎日たくさんのおキャップが送られ、キャップの個数は年々増加しています。当グループは今後も発展途上国の子どもたちのためにこの活動を支援していきます。

2kg (830個)のキャップの値段は子ども一人分のワクチンになります。ワクチンがブータン、ラオスとミャンマーに贈られ、主な感染症から子どもたちの命を助けることができます。さらに、キャップをリサイクルすることによって新しく製品に生まれ変わり、CO₂削減にも貢献できます。2012年度末現在、当グループにて集まったキャップは15,626,710個 (38,087kg)であり、その個数は19,043人分のワクチンに等しいです。

各年集まったキャップの重量とワクチンの累計個数



世界に広がる活動

私たちの取り組み

カーボンオフセットや
エコキャップ推進活動など
アジア各地へ向け
環境活動を広げています。



キャップ
15,626,710個で
約1万9千人分の
ワクチン
2012年度末現在

写真提供 JCV:禁断断転載



KINKANグループが実践する6つのチャレンジ

KINKANグループは地球温暖化防止国民運動、チャレンジ25キャンペーンに参加しています。オフィスにおいて実践できるCO₂削減に向けた具体的な行動を決め、6つのチャレンジを実施しています。



クールビズ、ウォームビズ、マイカップ
当グループではクールビズやウォームビズを実践し、またスタッフはマイカップを使用しています。



グリーン購入
グリーン購入ネットワーク会員として、環境への負担が少ない商品を選ぶようにしています。



自然エネルギー利用
当グループの中核を担う株式会社湖南リサイクルセンターの工場は、使用電力の一部をグリーン電力でまかっています。



事務所のエコ化
エアコンを定期的に掃除し、環境への負担が少ない設定温度を、保つようになっています。



CO₂削減への取り組み
植林によるカーボンオフセット、バイオディーゼル燃料の使用によるカーボンニュートラル、グリーン電力の使用、ペットボトルキャップの分別によりワクチンを寄附できるエコキャップ推進活動への参加、そして、滋賀県の森林づくり活動などによりCO₂削減に取り組んでいます。



地域で温暖化防止活動
滋賀県の「琵琶湖森林づくりパートナー協定」と「草津市愛する地球のために約束する協定」を結ぶことによって、地域の温暖化防止活動に参加しています。



2011年



2012年



2013年

キンカンの森

順調にスクスク育っています

2008年5月から内モンゴルにてカラマツの植林を行っています

2012年度
330kg
CO₂削減

カーボンオフセット

環境への負荷を削減するために、2008年5月から内モンゴルにてカラマツの植林を行っています。植林により当社のCO₂排出量の約5%をカーボンオフセットしています。カラマツ1本が30年間で吸収できる二酸化炭素量はおよそ250kgであると言われています。当グループで、月に約8本のカラマツを植林しています。植林を通して、地球温暖化防止だけでなく、砂漠化進行の防止や土壌回復による生物多様性の確保など地球環境の保全にも努めています。スタートから2012年度末まで472本のカラマツを植林しました。これは、合計約330kgのCO₂削減に相当します。

パートナー企業コメント

カーボンフリーコンサルティング株式会社
代表取締役 CEO 中西 武志 様

植林では、内蒙古の環境問題（地球温暖化防止・砂漠化防止・生物多様性の保全）改善、日本国へも飛来する黄砂の防止を目的としています。カラマツは順調に生長しており、大きいものでは1mを超え、土に根付き、緑化が進んでおります。また、数年間にわたり、現地の村との協働を継続してきた結果、現地の人々に緑化の技術移転が進んでいます。「緑化活動の主役は私たちではなく、現地の人々である」私たちは常にこのことを心に持ち続け、活動を続けていきます。





第三者意見



滋賀県立大学環境科学部
環境政策・計画学科

教授 金谷 健 様

■プロフィール

1957年生まれ(56歳)。
東京工業大学工学部化学工学科、
同大学院化学環境工学専攻修士課程修了。
環境省国立環境研究所研究員、京
都大学工学部衛生工学科助手、滋
賀県立大学環境科学部講師、助教
授・准教授を経て、現職。
廃棄物の3Rや適正処理を進める
「しくみ」に興味があり、学生と一
緒に、楽しみながら調べています。自治
体等から委員会等のお誘いがある
ば、可能な範囲で対応しており、「ク
リーンセンター滋賀 環境監視委員
会」や「買い物ごみ減量推進フォー
ラムしが」などに参画しています。

KINKAN GROUPの環境報告書(2013年度版のドラフト)を、2010年版~2012年度版の環境報告書とともに拝見しました。全体としてわかりやすく、親しみやすい、内容の充実した環境報告書になっていると高く評価します。

その上で、さらによりよい環境報告書にさせていただくための私の意見を以下に記載させていただきます。

①この環境報告書は、「KINKAN GROUPの環境報告書」とであると表紙に明記されています。しかし1ページ目に「会社概要」として、近畿環境保全株式会社のことを記載されています(他の3社は同社のグループ会社)。「KINKAN GROUPの環境報告書」ですので、「会社概要」でなく、「グループ概要」としてはいかがでしょうか。

その上で、4社の、社名、所在地、会社設立年月日、資本金、事業内容および施設、従業員数、および4社の関係などが記載されていると、ステークホルダーが貴グループの概要をより理解しやすいのではないのでしょうか。

②2010年度版には記載されていた、売上高や事業分野別売り上げ構成が、2011年度版以降は記載されていません。これらは、貴グループについての基本的な情報ですので、是非記載されることを望みます。事業分野別売り上げ構成は、売上高と同様に過去5年程度の推移を記載されると、なおいいと思います。また、収集や処理しておられる廃棄物量の数値も、可能な範囲で記載されてはいかがでしょうか。なお産業廃棄物・特別産業廃棄物の収集運搬業は、滋賀県以外の多くの府県でも許可をお持ちですが、それらの府県での収集運搬実績(産廃量や売上高)も、可能な範囲で記載されてはいかがでしょうか。

③維持管理項目(電気消費量、車輛燃費など)は、「実績(数量、単位)」と「昨年よりの変化」は、表にまとめられています。さらに「昨年よりの変化」についてのコメント(増減の理由など)も、可能な範囲で記載されてはいかがでしょうか。また湖南リサイクルセンターでの電力使用原単位が年々減少傾向にあることについても、是非、実施された対策等を記載されてはいかがでしょうか。

④社会貢献を幅広くされていることは、とても素晴らしいことと思います。また2013年度版からは、地域ごとに記載されているので、よりわかりやすくなっています。なお、社会的に弱い立場にある障がい者の方々に、働く場を提供されていることは、有意義です。湖南市のみならず、草津市などでも検討されてはいかがでしょうか。

第三者意見を受けて



取締役 玉置 紀代子

当グループの「環境報告書2013」への評価と貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。今回で5回目の発行となりました。今年は「地域密着」をテーマに各地域での活動を紹介し、より分かりやすく、見やすい伝え方に心掛けました。至らないところや改善点などを教えていただきましたので、以下それに関する回答いたします。

①と②に関しまして、発行前に修正しましたので、グループ概要と売上高を当環境報告書でご覧になれます。③に関しましては、昨年よりの変化と共に工夫したところも各項目に示し、今後も詳しく説明していきます。④に関しましては、障がい者の方々に2013年度から草津の資源循環センターにて働いていただくことになりました。この取り組みを、いただいたアドバイスのように、今後も発展させる予定です。

さらに、ご意見いただいたことについては、ステークホルダーの皆様に対し分かりやすく、有意義な情報を充実させていきますので、今後とも皆様のご意見をお待ちしています。

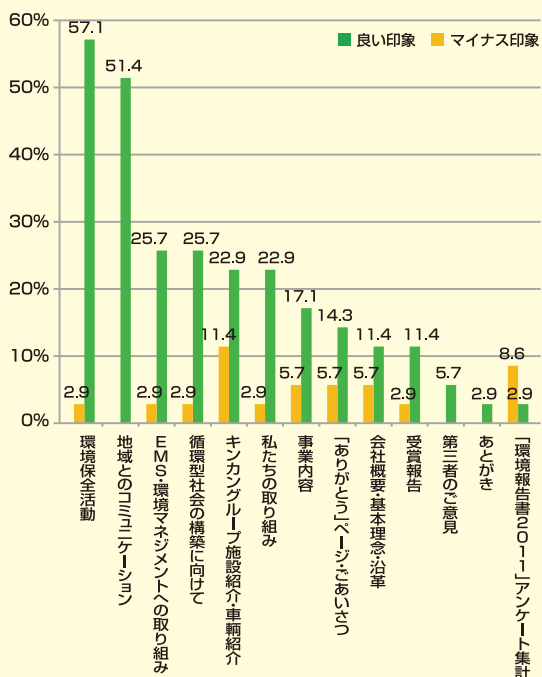


「環境報告書2012」アンケート集計結果について

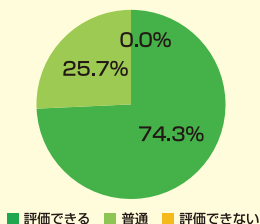
「環境報告書2012」に対し、35名（15名お客様、20名従業員）の読者様よりアンケートのご回答をいただきました。報告書の内容について、「評価できる」と「分かりやすい」、「良いデザインである」と答えてくださった方が最も多かったです。他の年と比べ、内容は充実している、デザインが良いと思われる方の割合が増えてきました。しかし、「分かりにくい」と答えられた方も増加しました。また、環境報告書の項目について、良い印象を持たれたページは「環境保全活動」と「地域とのコミュニケーション」、「私たちの取り組み」でした。マイナスの印象を持たれたページは「施設紹介・車両紹介」と「アンケート集計」でした。

当グループより皆様にさらに充実した内容をお伝えできるように、これからも社会貢献や環境に配慮した、時代に合わせた取り組みを行い、より分かりやすく、見やすい報告ができるよう努めていきます。貴重なご意見を誠にありがとうございました。

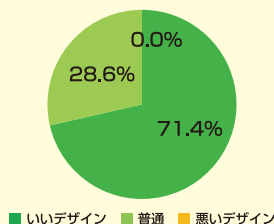
良い印象とマイナス印象を持たれたページ



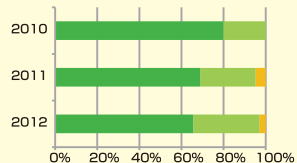
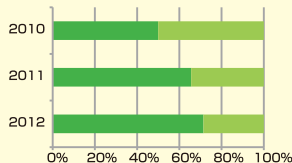
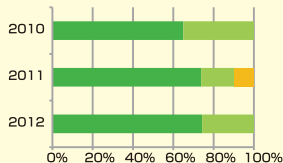
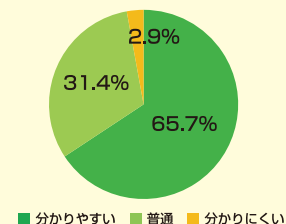
取り組みについて



デザインについて



分かりやすさについて



お問い合わせ

近畿環境保全株式会社 営業本部

〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

TEL 0748-77-7288 FAX 0748-77-7299

E-mail: info@kin-kan.co.jp

URL: http://www.kin-kan.co.jp

担当: 藤田 アニコー



KINKAN GROUP

近畿環境保全株式会社
株式会社湖南リサイクルセンター
株式会社きぶら
有限会社ラゴ

www.kin-kan.co.jp



この冊子は再生紙を使用しております。